

**令和2年度第2回多摩市一般介護予防事業評価委員会**  
**《要点録》**

日 時：令和2年2月1日（月） 10時00分～11時00分

会 場：多摩市役所 401会議室（一部オンライン開催）

出席者：7名

事務局：国士舘大学 介護予防による地域づくり推進員 健康推進課 保険年金課 高齢支援課

## 1 挨拶

○事務局 高齢支援課長 挨拶

## 2 報告

### (1)委員変更

○事務局より 資料1に沿って、2名変更を報告

### (2)介護予防・日常生活支援総合事業の令和2年度上半期実績と感染症拡大における二次的健康被害に対する取り組みについて

○事務局より 資料2に沿って説明

#### ・TFPP（TAMAフレイル予防プロジェクト）

コロナの影響で8月より再開した。多くの高齢者の参集が難しいため、既存の地域介護予防教室、近所de元気アップトレーニングにて、短時間で2020年度版を実施している。

#### ・うんどう教室

7月より再開し、主に室内版の体操を実施している。1回当たりの参加者は減少している。

#### ・地域介護予防教室

3～6月は活動を休止、7月より再開した。今年度9月に1教室を立ち上げて合計15教室となった。1月現在、14教室が休止しているが、休止教室のうち2教室は屋外でウォーキングを行っている。

#### ・地域リハビリテーション活動支援事業

コロナの影響で休止する通いの場が多く、10月より派遣を再開した。

リハビリテーション専門職は、18機関50名の登録がある。

#### ・近所de元気アップトレーニング（近トレ）

11月までに2ヶ所、12月に1ヶ所立ち上がり合計42ヶ所となった。12月末現在、休止は8団体ある。

#### ・通所型短期集中予防サービス（元気塾）

5～6月は事業を中止し7月より再開した。現在サービスは継続しているが、通いの場が休止しているところが多いため、卒業後のつなぎ先に苦慮している。

○事務局より、資料3-①②に沿って説明

・地域介護予防教室での体力測定は11～12月に15ヶ所で実施した。歩行に関する項目で悪化がみられ、生活状況アンケートより交友目的の外出や訪問の機会が減少している。

・うんどう教室では、年1回体力測定を実施しており、全体的に維持できている。

○事務局より、資料4-①②に沿って説明

・今年度6回、2020年版で実施した。90名の分析を行い、運動機能の悪化が顕著であった。認知機能で一部低下が認められたが、生活全般では向上が認められ、積極的な方が多く参加していたのではないかと考えられる。

## 【意見・質問】

○委員長：介護予防教室とうんどう教室での体力測定結果に差があったことについて詳しく

伺いたい。

⇒事務局より回答

地域介護予防教室は、座位でできる運動であり、足腰が弱い方も参加できる。一方うんどう教室は、立位で公園のうんどう遊具を使用した運動で、比較的元気な方が多いからではないかと考える。またうんどう教室は屋外での活動であり、積極的に散歩やウォーキング等を実施していた可能性がある。

○委員：コロナ禍で運営が難しい中でTFPPを実施できたことは非常によい。感染予防や工夫した点、今後の実施方法も含めて、何か案が出ていれば伺いたい。

⇒事務局より回答

大学では学生は参加せず、職員が検査を行った上で事業を実施した。3密を避け1時間以内に終了するように、人数が多い時には2部制にした。飛沫防止のため、全体説明を予め作成した動画を使用した。今後は屋外での実施も検討していきたい。

○委員：地域介護予防教室では、活動をウォーキングに変えている教室があるとの報告あった。自分達でできることを探し出して実践しており素晴らしい。このような活動も実績として報告を上げ、また他の教室に周知していくとよい。

リハビリテーション専門職の派遣は、コロナ禍で派遣回数が少ないのは仕方ないが、こういう時だからこそ、心配している世話人が多く、電話等でのフォローが必要である。

### 3 協議

(1) 来年度以降の介護予防事業について

○事務局より、資料5-①②に沿って説明

○事務局より、屋外でのTFPP実施について、口頭説明

コロナ禍において、室内で行うのは難しいため、屋外でのTFPPの実施を検討している。また生活支援体制整備事業の協議体の委員にも協力してもらえると、広く高齢者に呼びかけられるのではないかと考えている。今後さらに検討し次回の委員会で報告していく予定である。

【意見】

○委員：リハビリ専門職の同行訪問は良いアイデアである。高齢者は身体状況や生活状態が変化することが予測されるため、1回の訪問ではなく、アセスメントに基づき再訪問して確認できた方がよい。その結果を地域包括支援センターにフィードバックするのもよい。

○委員：スタッフの業務量の面で問題はないのか伺いたい。

⇒事務局より回答

来年度40～60件を見込んでおり、業務量については委託先に確認済みである。

継続支援については、今後地域のリハビリテーション専門職にも広げていくことも検討する。まずは、元気塾のリハビリテーション専門職で開始をしていきたいと考えている。

○委員長より

来年度以降の介護予防事業について承認されるか、確認 ⇒ 委員全員、承認

### 4 その他（事務局より）

○第8期多摩市高齢者保健福祉計画(素案)について、資料6に沿って説明

・パブリックコメントを実施し、意見を反映して修正し今月末決定予定である。

○保健事業とフレイル予防事業との一体的実施について、資料7に沿って説明

○新型コロナウイルス感染症対応と健康づくり地域推進事業について、資料8に沿って説明

○次回は、来年度7月頃を予定している。

以 上